

『時事直言』 No.1524 2022年1月18日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

米中東西冷戦はバイデン・習近平の出来レース！

「小冊子」Vol. 125 は本日から発送開始！

バイデン米大統領と習近平中国国家主席は二人とも米中冷戦は誰が何の為に仕組んだかを知っているから自分が何をしなくてはならないかをわかまえている。

アメリカは中国にウイグル族人道問題、香港民主主義弾圧、対台湾武力攻勢などで追い込もうとしているが、総て故意に的を外している。

対中必殺は至極簡単、ドルと人民元の交換制を廃止すればいい。

これで中国が「即死」することはバイデンも習近平も百も承知。

仮に交換制を廃止しなくても「可能性を匂わす」だけで、中国はアメリカに従う。

しかしバイデンは対中必殺手段をおくびにも出さない。

ドル・人民元交換制廃止は米中冷戦の受益者から強く禁止されているからであり、又習近平はそれを百も承知している。

バイデン・習近平は出来レースで米中冷戦をなお一層激化させることである。

資本主義の世界では、民主主義体制のアメリカも、専制主義体制の中国も、株式会社が資本金で始まる様に「先立つモノはカネ」である。

「資本なくして国民無し、国家無し」である。

アメリカは建国から今日までユダヤ資本によって支配されてきたように、中国は毛沢東の建国から今日まで共産党を牛耳っているのは中国人の顔をしたユダヤ人、ユダヤ資本である。

毛沢東の最高顧問はユダヤ資本の代理人シドニー・リッテンバーグは 6,000 万人を殺害した文化革命に要した膨大な資金を調達している。

今日のセブンスター(7人の共産党常務政治局員)の内3人はユダヤ人であり、習近平が父の様に慕い信頼している王岐山国家副主席は英国シティ(ユダヤ資本)の代理人である。

表向きは冷戦激化でアメリカはクワッド(アメリカ・オーストラリア・日本・インド)やオーカス(アメリカ・オーストラリア・イギリス)など対中軍事包囲網を構築、軍事力強化と言う名目で同盟国や友好国へ兵器を売りまくっている。

一方中国は 1950 年の朝鮮戦争、ベトナム戦争以来これと言った戦争が無く軍拡が停滞していたところへやっと米中冷戦を仕掛けられ軍拡を進める事になった。

米中表向きは冷戦、両国の主たちは一心同体。

中国を動かすユダヤ資本は戦後のアメリカがそうであったように、2049年の建国100周年までに中国を世界の覇権国にすることで One World を達成しようとしている。

一方アメリカを支配するユダヤ資本は個別の国家を無視し、単独国際基軸通貨で世界を支配しようとしている。

One World に向けて本質を異にする体制下でユダヤ資本が別々のアプローチを掛けている。

やがてクワッドの日本やオーカスのオーストラリアが「足をすくわれる」のは必至！

詳しくは、「小冊子」 Vol.125 をお読みください。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。